

第1回中井町総合計画審議会議事録

日 時	2018年03月23日(金) 10:30~12:00
出席者	資料2参照
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 委員の委嘱</p> <p>3 会長の互選及び職務代理者の選定</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 第六次中井町総合計画基本計画重点プランの取組状況について</p> <p>(2) 第六次中井町総合計画の進行管理体制について</p> <p>(3) その他</p> <p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>
議 事	<p>●会長、○委員、◎事務局</p>
事務局	<p>1 開会</p> <p>加藤副町長より開会のあいさつ</p>
会 長	<p>2 委員の委嘱</p> <p>平成30年3月23日より2年の任期で委嘱(委嘱状は机上配布)</p>
会 長	<p>3 会長の互選及び職務代理者の選定</p> <p>○事務局一任との発言があり他の委員も異議なしとの賛同を得たので、事務局より引き続き、諸坂委員を会長に提案させていただいた。</p> <p>○全会一致で諸坂委員が会長に選任した。</p> <p>●諸坂会長より加藤委員を職務代理者に指名があり、選任した。</p>
事務局	<p>4 協議事項</p> <p>(1) 第六次中井町総合計画基本計画重点プランの取組状況について</p> <p>・資料3に基づき説明</p> <p>【説明】</p> <p>◎前期基本計画は7つの分野に132の小施策を体系づけた。「活力」「快適」「安心」を基本理念とし、まちの将来像実現をめざす。重点プランは、他の施策の牽引軸となる取組、分野をまたいだ横断的な施策が求められる取組、基本理念実現の柱となる取組を重点プランに位置付けた。</p>
事務局	<p>◎目標値については、前期計画期間の32年度末を目標年次としたものだが、29年度末時点における現状値について資料のとおり一覧に示した。</p> <p>【意見】</p>
委 員	<p>○カフェが整備され中央公園利用が盛んになってきたが、どのように利用されているか町民としてつかみきれない。そこで公園を管理している指定管理者が『公園だより』のようなものを毎月発行して広報と合わせて町民に周知するようなことができないか。</p>
会 長	<p>●広報のしかたの問題かと思いますが、イベントなど、どういうやり方で広報しているのか。</p>
事務局	<p>◎おもに町が発行している広報紙を使って広報している。ただし、町主催でないイベントの広報のしかたについては課題になっているところであり、自治会を通じて配布してもらっている現状なので、引き続き検討していきたい。</p>

事務局	◎中央公園については指定管理者がHPを作成して周知を図っているが、そこまで詳細な情報を提供しているわけではない。提案いただいた件については、担当課も含め検討させていただく。
委員	○ホームページと言われたが、すべての人がインターネットを利用できるわけではない。特に年寄りにはホームページを見られない。チラシ1枚でもいいから紙による情報発信をお願いしたい。
会長	●行政の広報のしかたが今、問われている。活字だけが並んでいる記事を住民は読まない。写真やイラストなどビジュアル的に視覚に訴えるような広報が求められている。他自治体の広報も参照しながら改善できるところは改善していく努力をお願いしたい。
委員	○昼間の人口の方が、夜の人口に比べて多いわけだが、企業（本店・支店視点）など進出や移転などの動きをどのように把握しているのか。
事務局	◎現在、グリーンテック内にトヨタの増築工事が進められている。建築確認等の届出により状況は把握している。また、移転などの情報については、町内企業で組織されている「中井の環境を良くする会」などを通じて情報交換に努めている。
委員	○避難行動要支援者数はすべて確認しているという認識でよいか。リアルタイムな把握のしかたや手順等が分かれば教えていただきたい。
委員	○民生委員の方である程度把握をしている。
事務局	◎登録については本人同意が必要なので、すべての同意確認が得られていない。
委員	○同意しない人が多くいると聞いている。
委員	○里都まちカフェや里都まちの来場数もここに計上していいのではないかな。
事務局	◎現金収入として売上に係る人数については把握できているが、ただ入店しただけの人にはカウントしようがない。商工会から平均1日40人という報告を受けている。
委員	○グランドオープンした暁には、カフェ等の来場者数もここに計上していったほうがいい。
事務局	◎把握できる範囲で集計に努めていきたい。
委員	○出生数の目標値61人／年に対して、29年の実績値では年間42人の出生に留まっており、目標人口の維持にむけて心配である。
会長	●近隣市町と比較して、中井町は多いのか、少ないのかを確認することが必要。全国的に少子高齢化で下がっていることは逆らえないので、そのなかで中井町がどうなのかを判断する必要がある。
委員	○中井町の場合、超高齢化が進みに進んでいる。現在高齢化率が33%、これがさらに加速化していく。生活支援システムの構築を図るため、コーディネータ制度を町から社協が受託して今年度から開始していく。指標があまりにも数字だけが羅列されている。いろいろな事業をやっているのに、数字だけで示せないものも紹介していてもいいのではないかな。
事務局	◎確かにご指摘のとおりである。今回は重点プランの指標にこだわって進捗状況を委員に報告した。また、違う見せ方についても今後検討していきたい。
会長	●定量的効果だけでなく定性的効果でも評価を示してもらいたい。備考欄を空白にさせない。
会長	●事業ごとに数値が示されているが、全体の評価と個別の評価は次元の違う話なので、予定人数に対して実績がどうだったのか、一つ一つ検証していただきたい。昨年の反省をきちんとバトンタッチできる環境を整えていくことが必要。
	(2) 第六次中井町総合計画の進行管理体制について ・資料4に基づき説明
	【説明】
事務局	◎当審議会から策定の際、進行管理について各施策の進捗状況や成果を客観的に把握し着実な推進を図ること、また、第三者機関や外部組織による評価の実施と分かりやすい公表体制を構築し、適正な進行管理に努めるよう答申がされており、これに応じる体制を整備した。

事務局	◎行政評価の目的、体系、総合計画と行政評価の関係を資料のとおり示した。
	【意見】
会長	●事業の是非を問う場ではない。感想、質問等あればお願いしたい。
委員	○事業評価にあたっては、予算の提示も合わせてないと、なかなか評価が難しいと思われる。
事務局	◎評価シートのなかでは、事業の決算額を示したなかで外部評価をおこなっていただいている。
委員	○我々にとっては総合計画、行政の根幹に関わる部分の進捗を知れることは非常に有意義な場と思うので、負担にならない範囲でお示しいただけるとありがたい。
委員	○外部評価に諮る事業が6事業では少なすぎる感じがします。
会長	●外部評価委員を務めている。1事業だいたい1時間かかる。プレゼンテーション20分というのは結構短い、20分にまとめるのは結構たいへんな作業。
会長	●外部評価の内容を課長クラス、班長クラスの傍聴が全然できていない。他人のプレゼンを見るのも勉強になる。
会長	●平塚市、大磯町でも外部評価に関わったが、だいたい6～8事業くらい。
委員	○抜本的見直しとなった2事業とはどういう事業内容なのか。
会長	●観光農園、児童公園維持管理事業の2事業、費用対効果の観点と税金投入の観点で評価した。
	(3) その他
	・資料5に基づき説明
事務局	◎里都まち魅力創生事業の概要として各プロジェクトの取り組みを紹介
委員	○この場合は総合計画審議会なので行政評価については外部評価委員にお任せするとして、先ほどから町はいろいろ事業に取り組んでいるという評価をしているが、その結果どうなったのかというものが見えてこない。総合計画では平成37年度の目標人口9400人と設定しているが、総合計画のなかで目玉となるような事業が出てこないかなと思う。何でもかんでもしようというのではなく。愛知の長久手は自然を活かしたまちづくりをコンセプトに施策事業を進め人口が増加した、中井町もこれだというものができて総合計画の事業として報告されるようになるといい。なかい誕生110年アイデア募集の中にも、そうした秀逸のアイデアがあったかもしれない。そうしたまちづくりの展開を期待したい。
	5 その他
事務局	◎地方創生ニュース、なかい誕生110年記念事業として行っていく取り組みを情報提供した。
	6 閉会
事務局	◎新たな取り組みとして審議会を開催させていただいた。職員、委員の皆さまに負担とならない形で今後も開催していきたいのでご理解とご協力をお願いしたい。本日はありがとうございました。